



# SPIO Newsletter

Society for Promotion of International Oto-Rhino-Laryngology

平成26年4月25日(金)

# 14

第14号

公益財団法人  
国際耳鼻咽喉科学振興会

— ご 挨拶 —

理事長 野村 恭也



公益財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会（SPIO）に対して平素からのご支援に心より御礼を申し上げます。

SPIOは平成24年4月1日に公益財団法人へ移行し、本年4月より3年目を迎えました。当財団の活動は、定款にありますように国際的な視野で耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学の学問、診療の発展に寄与することで、SPIOはそのための助成財団です。

ここで問題になるのが、その財源はどこからくるのかということです。国や地方自治体からの補助金はありません。すべて関係各位からの寄附金と賛助員の方々からの賛助費が恒常的な財源です。従いまして寄附金及び賛助費が増えるとSPIOから学会、個人への助成も増えることとなりますが、年度によって寄附金額が変動し、財源の保証はありません。このためなるべく多くの寄附を集めることがSPIOの責務です。

現在、寄附者のお名前を冠した杉田SPIO研究助成金、戸田SPIO奨学金は個人のご寄附によるもので、コストコSPIO研究助成金は企業からのご寄附によるものです。これらの寄附金は安定した財源であり、外国人留学生への研究助成、日本人研究者への留学や海外の学会での発表の支援、また、国際的な研究への助成に役立っています。詳細はホームページ (<http://www.spio.or.jp>) あるいはSPIO Newsletterをご参照ください。

その他、外国人若手耳鼻咽喉科医が来日して日本耳鼻咽喉科学会の関連学会において発表することを奨励するために、その個人に対して助成をしたいと長年考えていました。25年度は戸田SPIO奨学金の余剰分を日本耳科学会にて発表した外国人研究者2名に助成しましたが、26年度においても英文発表のある学会と相談の上、助成の可能性を検討していきます。近い将来に、SPIO Fellowship というような枠を作りたいと考えていますが、まずは財源の確保が急務です。皆様のご支援をお願い申し上げます。

また、26年度は耳鼻咽喉科関係者だけでなく、一般の方々にもSPIOの活動を知ってご支援いただくことをひとつの課題としています。そのために公開講座を計画しています。そして、この機会をSPIOのファンドレイジングにつなげたいと考えております。

今後とも皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

## コストコ SPIO 研究助成金

今年度も、国際的に有意義な研究に対する助成として、難聴及び補聴器関連の研究から選考を実施し、以下の3件の研究に対して、各々100万円を助成した。

- (1) 軟骨伝導補聴器 (奈良県立医科大学 細井裕司)
- (2) 小児～高齢難聴者に対する地域医療支援システムの構築 (宮崎大学 東野哲也)
- (3) 災害時の難聴者対策 (福島県立医科大学 大森孝一)

## 平成25年度事業報告

1. 留学生(2名)への研究助成
2. 若手日本人(4名)への助成
3. 国際的に有意義な研究への助成(3件)
4. SPIO Awardの表彰
5. 国際学術会議等開催助成(7件)
6. 寄附金募集助成(36件)
7. その他(ホームページ、ニュースレター他)

## 平成25年度収支決算報告

6月開催の評議員会終了後に、ホームページを更新致しますのでご覧ください。

## SPIO クラブ

第115回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会の会期中、小宗 静男 会長のご好意により会場内にSPIOクラブを設け、SPIOの助成活動のご案内及び賛助員の申し込み受付を行います。皆様が自由に懇談いただける場、情報交換の場として、是非お立ち寄りください。

平成26年5月15日(木)・16日(金) 10:00～17:00  
ヒルトン福岡シーホーク 1階 くす 樟の間